

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 淡路島ファミリーサポートセンターまあるく	代表者名	代表理事 関 美恵子
事業名	「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2020年 6月	連携先への依頼、調整など考察。 新型コロナウイルスに関する対策会議。
7月	連携先との会議。（NPO法人さんぴいす、オンラインアプリの件や事業開催の方法や内容の会議。行政へ子育て支援連携事業としての連携方法や広報の依頼など。）
9月	講師日程調整、内部検討会など。 広報内容検討、作成。
10月	事業全体広報配布、関連施設へ掲載依頼。 10月お試しオンライン交流会広報チラシ作成、広報周知依頼。
10月21日 10：30～11：30	①「コロナに負けるな！淡路島子育て交流業」（お試しオンライン交流会1回目） 参加2組（4名、うちオンライン3名） 内容：オンライン交流会の説明、多胎児世帯支援について
10月29日 13：00～14：00	②「コロナに負けるな！淡路島子育て交流業」（お試しオンライン交流会2回目） 参加4組（9名、うちオンライン3名） 内容：安田式体育遊び指導法（兵庫県子育て支援員フォローアップ研修にて学ぶ。）、参加者交流。
11月19日 13：30～14：30	③「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：三浦志筑保育園副園長 テーマ：「コロナ禍の園の状況と今後のこと」 参加7組（15名、うちオンライン8名）
11月27日 10：45～11：50	④「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：妊産婦食アドバイザー テーマ：子育て支援員が学んだ「妊産婦食アドバイザー講座の話し」 参加2組（5名）
12月 9日 14：00～15：30	⑤「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：富本康仁医院長 とみもと小児科医院 テーマ：「コロナ禍の子育て」 参加7組（15名、うちオンライン6名）

12月15日 10:45~11:30	⑥「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：子育て支援員 テーマ：子育て支援員が学んだ「わらべうた遊びについて」お話しとわらべうた遊び体験 参加5組（11名）
1月22日 13:30~14:30	⑦「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：高田代表理事（小規模保育園あんよ） テーマ：コロナ禍における島外の保育現場の声と、利用者の方の声、コロナ禍の子育ての提案 参加4組（9名、うちオンライン3名）
2021年1月29日 10:45~11:30	⑧「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：荒木管理栄養士 淡路市健康増進課 テーマ：「乳幼児期の食事について」 参加7組（16名、うちオンライン3名）
2月26日 10:45~11:30	⑨「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：長田ジャズミン氏 テーマ：「子育て中でもできる簡単なスキンケアと美容」 参加5組（11名、うちオンライン5名）
3月10日 11:00~12:00	⑩「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」 講 師：木下麗子氏 キッチンひろばChura テーマ：「子どもの食べる力」 参加8組（14名、うちオンライン8名）

### <効果と成果>

ひょうごボランティアプラザの地域づくり活動NPO事業助成事業を連続して御採択頂き、H29年度～H30年度の3年間と、R1年度～R2年度と連携重視の助成事業として、淡路市での子育て支援活動に活用させて頂いております。お陰様で、市民の方々にも“この団体が実施する行事”＝“楽しい事”“安心して参加できる”という認識が定着しつつあり、「次年度はどんなことを計画しているの？」と楽しみにして頂いている方も増えてきました。

R3年度は、「コロナに負けるな！淡路島子育て交流事業」として全10回、オンライン参加とリアル参加型のハイブリッド開催を実施し、51組148人の親子が参加してくださいました。

近年では世界中の誰もが未曾有の経験となる“新型コロナウイルス対策”の中、どのように子育て中の方々にご参加頂く事が出来るのか模索しながらの活動となりましたが、「子育てにはやはり交流が大切なんだ。」ということを再認識できるいい機会となりました。

令和3年度は、多世代交流を実現させたいと考えており、「おむすび交流の場」に来所される親子と、高齢者の方々、更に市内に拠点をおく“大学”との連携により、新たな計画を行政や地縁団体とともに進めて行きたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
自己資金	87,524
合 計	487,524

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直 接 経 費	人件費	144,750	129,200
	講師謝金	130,000	130,000
	通信費	42,306	42,306
	その他 (印刷代、消耗品等)	87,331	58,816
	小 計	404,387	360,322
	間接経費 (一般管理費)	83,137	39,678
	合 計	487,524	400,000